

Kintsugi Kit

取扱説明書

金継とは割れたり欠けたりした陶磁器を、漆を使って接着し、金や銀などを使って蒔絵の技法で修理する方法です。金繕いとも呼ばれます。主に茶道具の世界で発達して、壊れた道具を再生して大切に使う心が伺われる日本独特の技法です。修理した部分も道具の景色として珍重され、骨董品としての価値もあります。

金継セットを使った、欠けたり割れたりした陶磁器の修理方法を説明します。

セットの材料説明

筆 形状の異なる数種の筆。
生漆 接着に使う糊漆や、錆を作るときに使用します。
絵漆 金粉を蒔く下地に塗ります。
砥之粉 生漆と練り合わせて錆を作るのに使用します。
地之粉 生漆と練り合わせて地をつくるのに使用します
木粉 糊漆と練りあわせてこくそを作ります。
デンプン糊・強力粉 生漆と混合して糊漆を作るのに使用します。
テレピン 漆を希釈したり、除去したりする際に使用します。
菜種油 漆の付着した筆を洗浄します。筆先を含めて保管します。
金粉
真綿 金粉を蒔き付けるのに使用します。
駿河炭/研磨紙 漆の研ぎに使用します。
絵皿
プラスチックヘラ、椀
エポキシパテ
マスキングテープ
綿棒
竹串 はみだした錆や糊漆などをこそげ取るのに使用します。
ラテックス手袋 漆を扱ったり、研いだりする際には必ず着用して下さい。
漆かぶれの危険性があります。

他に必要な材料

2液型エポキシ接着剤
ウェス、ティッシュペーパー
水を入れる小皿
カッターナイフ
ムロ 木製の箱が適しているが、ない場合にはダンボール箱やプラスチックケースでも代用可能。内側を湿らせたり、塗れた布を下に敷いて内部の湿度を上げます。

金継工程

接着
割れた断面が汚れている場合には、綿棒にアルコールを付けて拭き取ります。
漆で接着する工程
糊漆をつくります。絵皿に生漆・デンプン糊を出して、椀で練り合わせます。なめらかになったら強力粉を少量足して、粘り気が出るまで練り合わせます。
筆を使って割れた断面に糊漆を多めに塗り付けます。隙間なく塗れたら、部品を接着します。椀で、はみだした糊漆を除去します。ずれないように、マスキングテープで部品を固定して乾かします。硬化したら、ウェスにテレピンを付けて、はみ出した糊漆の汚れを拭き取ります。

漆を使って欠損部を埋める方法

大きな欠損はコクソを使って埋めます。
生漆にでんぷん糊を練り合わせ、木粉を混合してコクソを作ります。欠損部

にコクソを埋めます。ムロに入れずに乾かします。

錆を作って小さな欠損部を埋めます。

砥之粉全体が湿る程度に水を混合し、これに生漆を等量混ぜます。コクソの上に錆を付けてもとの形状に戻します。大きな凹みは数回に分けて徐々に埋めてください。

十分に硬化したら研磨紙で水研ぎして形状を整えます。水研ぎの際にも手袋を着用して下さい。漆かぶれの危険性があります
接着部に凹がある場合にも、椀を使ってサビを擦り込んで凹を埋めます。

エポキシパテで欠損部の補修

(エポキシパテをカッターナイフで必要分量を輪切りにして、練り合わせ、欠損部に埋めます。十分に硬化したら、カッターナイフで削り、研磨紙でみがいて形状を整えます。)

下塗りと欠けの補修

錆で埋めた部分に弁柄漆を塗って、表面を滑らかにします。厚く塗りすぎると縮むおそれがありますので、注意してください。乾かす際にはムロに入れてください。十分に硬化したら研磨紙に水をつけて表面を研磨します。細かな部分を研磨するには適切な大きさに切った駿河炭を使うと効果的です。

金粉仕上げ

金粉を蒔き付ける部分に弁柄漆を薄く塗ります。ムロに入れて時々息を吹きかけて乾き具合を確認します。白く表面が曇る頃合い(約15分)が最適です。真綿を使って金粉を蒔きます。全体に粉が付着したら、真綿で軽く表面を磨いてください。そのままムロに入れて硬化させます。十分に硬化したら粉を付けた真綿で再度磨いて仕上げます。周囲の余分な粉を拭き取ります。

粉固め

生漆を絵皿に出し、テレピンで希釈します。筆で粉を蒔いた部分にそれを塗り付け、ウェスやティッシュペーパーで良く拭き取ります。ムロに入れて硬化させたら完成です。

筆の洗い方と保管方法

筆先に菜種油を付け、絵皿の上で軽くたたいて漆を洗い出します。漆が出なくなるまで何度も繰り返します。筆先に菜種油を含ませて保管します。漆を使う際には筆先の油をウェスで拭き取ります。漆を筆に付けて、油を洗い出しウェスで拭きとる工程を3回繰り返します。

漆が手についた時の除去方法

漆が皮膚に付着した場合には、速やかに漆を除去してください。菜種油を付けたウェスでよく拭き取り、その後石鹸を付けてぬるま湯で洗い流します。漆を皮膚に付着したままにするとかぶれの危険性が高くなります。皮膚に異常を感じた場合にはただちに使用を止め、医師の指示に従ってください。

レクチャービデオなど詳細は下記URLまでアクセスして下さい。

www.arts-and-crafts.jp